

6. 2020年度 事業計画について

(1) 2020年度(地域就労支援事業)予算の概要

(単位:円)

名称	2020年度予算額 (2019年度予算額)	概要
地域就労支援 コーディネーター業務	16,127,000 (15,980,000)	就労困難者等を対象に支援員が一人ひとりの状況に応じた就労支援メニューを提供し、阻害要因を克服することで就労の実現を目指す。
職業能力開発	1,573,000 (1,464,000)	就労困難者等のスキルアップを図り、就労への支援を行うことを目的として、各種講座やセミナー等を開催する。
雇用・就労創出	303,000 (328,000)	障がい者就職面接会、企業啓発セミナー(シンポジウム)等を実施し、障がい者などの就労困難者等の就労機会の拡大を図る。
地域就労支援基本計画推進 にかかる経費	407,000 (411,000)	地域就労支援基本計画の円滑な推進を図るため、関係機関・団体により構成された地域就労支援基本計画推進委員会を運営し、効果的な事業展開を検討する。
合 計	18,410,000 (18,183,000)	

(2) 2020年度事業計画及び年間スケジュールについて

【 地域就労支援基本計画推進にかかる会議開催 】

会議名	目 的	開催予定時期
地域就労支援基本計画 推進委員会	八尾市地域就労支援基本計画の総合的・計画的な推進体制を整備することを目的とする。	7月・2月 (年2回)
相談員連絡会議	地域就労支援センターの相談業務を円滑に実施するため、知識・情報の共有化を図り、コーディネーター相互の協力体制を構築することを目的とする。	原則、奇数月 第3木曜日
ケース検討会議	地域就労支援事業における就労困難者等の個別ケースについて、関係機関が連携を図り、就労阻害要因の解消に向けた支援策を検討することを目的とする。	随時

【 地域就労支援コーディネーター業務 】

センター名	相談時間	コーディネーター数
中央地域就労支援センター (ワークサポートセンター内)	月曜～金曜 午前10時～午後6時	非常勤嘱託員 2名
桂地域就労支援センター (桂人権コミセン内)	月曜～金曜 午前9時～午後5時	委託先職員 1名

センター名	相談時間	コーディネーター数
安中地域就労支援センター (安中人権コミセン内)	月曜～金曜 午前9時～午後5時	委託先職員 1名
龍華地域就労支援センター (龍華コミセン内)	月曜～金曜 午前9時～午後5時	委託先職員 1名
山本地域就労支援センター (山本コミセン内)	月曜～金曜 午前9時～午後5時	委託先職員 1名

【 職業能力開発 】

講座名	内容	対象者	開催予定時期
個人対応パソコン講座	ワード・エクセルの基本を体系的に学び、事務職として働くための実践力を身につけることを目的とした講座	各地域就労支援センターより誘導された就労困難者	7月～3月
介護職員初任者研修	介護施設等での就労に必要な資格を取得するための講座	求職者全般	10月～1月
就職支援セミナー (無料職業紹介事業)	履歴書の書き方や面接の受け方、また就職するために必要なビジネスマナー等を学ぶ講座	若年者を中心とした求職者全般	会社説明会と連動し年1回程度

【 雇用・就労創出 】

取組み名	内容	対象者	開催予定時期
障がい者雇用を考える集い	障がい者雇用を促進させるためのシンポジウム等を開催する。	事業所人事担当者、一般就労を希望する障がい者 その他関心のある方	11月5日 もしくは 11月6日
障がい者就職面接会	障がい者向け就職面接会を開催する。	一般就労を希望する障がい者	11月10日
就職フェアやお・かしわら (無料職業紹介事業)	八尾市・柏原市内事業所を中心とした会社説明会・就職面接会を実施し、就労の機会を提供する。	就労困難者等を含む求職者全般	10月30日
会社説明会・就職面接会 及び個別職業紹介 (無料職業紹介事業)	八尾市無料職業紹介所及び八尾商工会議所主催の就職面接会等を開催するとともに、就労困難者等に対し個別に職業紹介を実施する。	就労困難者等を含む求職者全般	・八尾市会社説明会・面接会 (年4回程度) ・個別職業紹介は随時

(3) 2020年度事業計画について

【本年度の方針】

近年、雇用情勢が緩やかに改善されているなか、比較的就職しやすい状況が続いており、地域就労支援事業の新規相談者件数は減少傾向にありました。しかし、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大により雇用状況が変化し、有効求人倍率の低下など離職者の増加が懸念される状況であることから、今後就労困難者等についても増加が見込まれます。

今年度については、感染拡大防止の観点から企業等に対する啓発セミナー等は最小限にとどめる一方、雇用情勢が悪化するなか、就職機会の提供を図ることの重要性を鑑み、新型コロナウイルス感染防止対策を実施のうえ面接会を開催するとともに、個別の相談などを通じ就労困難者一人ひとりに寄り添った支援を実施していきます。

【本年度の重点内容】

(1) 関係機関との連携による相談者の誘導

新型コロナウイルス感染症拡大による雇用情勢の悪化により、求職者や就労困難者等の増加が見込まれる中、福祉生活相談支援事業や生活困窮者自立支援事業を行っている福祉部門などの相談者のうち就職を希望する方を着実に誘導してもらうため、関係機関及びコーディネーター個人レベルでの連携を強化しながら、事業を実施していきます。

(2) 障がい者就職面接会等の実施

八尾市では例年、障がい者雇用支援月間である9月に柏原市との広域連携により、「障がい者雇用を考える集い」として、障がい者雇用の促進を図るシンポジウムを開催していましたが、昨年度、就業機会の少ない障がい者に就職機会を提供するため、ハローワーク・大阪府等の協力を得ながら、障がい者を対象とする就職面接会を実施いたしました。

本年度、シンポジウムは、柏原市と連携し実施いたしますが、障がい者を対象とした就職面接会については、ハローワーク布施と連携し、八尾市単独で実施します。

(3) 労働相談の強化

現在、月2回八尾市ワークサポートセンターにおいて弁護士及び社会保険労務士による勤労者法律相談を実施していますが、今後、新型コロナウイルスによる解雇や雇止め、関係制度の申請など労働に関する相談の増加が見込まれます。そのため、今年度は、これまでの勤労者法律相談を充実させるとともに、面接会やシンポジウムなど様々な機会において労働相談の場を提供します。